

広報

かわごえ環境ネット

2025年7・8月号 No.204

ヤマユリは万葉集にも詠まれている日本古来のユリです。明治時代にはさかんにヨーロッパに輸出され、カサブランカなどの品種が生まれました。「(仮称)川越市森林公園」計画地には、ここ数年立派な立ち姿のヤマユリが、7月になるとあちこちに見られます。すべて自生で、種子から数年かかって開花したものです。(賀登環)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

- 2: 【報告】 春の里山自然観察 & クリーン活動 (4月26日)
- 3: 【報告】 総会・懇親会 (5月31日) / 川越市内の川の一斉水質調査 (6月8日)
- 4: 【コラム】 社会と環境について思うこと (34) お米づくりは風景をつくること
自然を訪ねて (22) 「キノコが見当たらない」に思う
- 5: 【予告】 キノコの観察会 (7月5日) / 会員及び一般参加者を募集する行事または活動
- 6: かわごえ環境ネットからのお知らせ
- 7: 会員からのお知らせ
- 8: イベントカレンダー (7月1日~8月31日) / ボタニカルアート (14) ハス

残したい川越の風景 (22) (仮称) 川越市森林公園計画地のヤマユリ (2024年7月10日撮影)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

【報告】春の里山 自然観察 & クリーン活動 (4月26日)

今年の活動日は大当たり!キンランが「見て、見て、きれいでしょ」と言わんばかりの豪華さでした。

4月26日(土) 9:30 から「春の里山 自然観察 & クリーン活動」を行いました。今年「広報川越」に掲載できず、申込者の方が36名から4名に激減してしまいました(この広報不掲載は今後も続くので観察会のお知らせをどのようにしていくのか課題となっています)。しかし、当日は声かけが功を奏して一般参加者が11名となり、総勢15名で活動できました。

現在の(仮称)川越森林公園計画地はキクイムシによる「ナラガレ」の被害も多く、かなり太い落下枝があります。「森

のさんぽ道」も安全ではないので、活動日には必ず頭上に注意をしています。ちょっと前に「ヤマザクラ」が裂けるように割れて道をふさいでいたこともありました。自然に還らないごみは「森のさんぽ道」には比較的少ないのですが、ブッシュになっている雑木林にはペットボトルや空きかんが投げ入れられています。ごみ箱のない場所なので「お持ち帰り」が基本です。

今回「初めて」の声が多かったのが蛍光カラーにも見える「ホタルガ」の幼虫です。「サワフタギ」の葉っぱは、さながら「ホタルガ幼虫マンション」でした。こんなに多くの幼虫が見られるなんて、ビックリでした。

最後に今回初参加の方(Kさん)の声から「絶滅危惧Ⅱ類(VU)」のキンラン、ギンランが「見てー」とばかりに背伸びするように咲き誇っている姿は感動でした。また季節を追うたび、新しい感動に出会えることにワクワクしています。」

かわごえ環境ネットでは、毎月第2・4月曜日9:30に川越南文化会館(ジョイフル)ロビーに集合し、観察会や保全活動をしています。緑の雑木林でご一緒にしませんか? 植物や樹木の名前、詳しくなりますよ。

(横山三枝子プラス Kさん)



出発前の参加者集合写真



出発直後に見られたヤマザクラの倒木



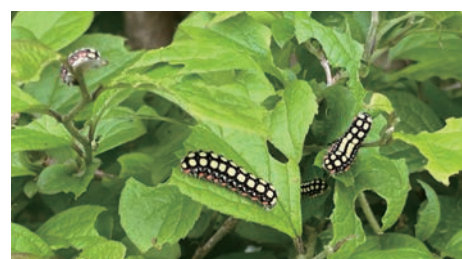
林内の一角がマレットゴルフ場に変化



本紙 2025年5・6月号 (No.203) でカブトムシの幼虫がたくさんいたコナラの倒木



みごとなキンランの群生



サワフタギの葉に群がるホタルガの幼虫



サワフタギの花



少ないですがギンランも咲いていました



ごみの分別作業



拾ったごみとともに終了時の集合写真

【報告】総会・懇親会 (5月31日)

総会

5月31日(土) 10:00-11:30 に川越市立博物館視聴覚ホールにおいて2025年度総会が開催されました。会員数179名に対し出席24名、委任76名の計100名の出席により総会が成立しました。

飯島希理事の司会進行により総会が進められ、理事長の小瀬が議長に選出されて5つの議案について審議が行われました。下記の質疑及び回答、意見がありましたが、議案はすべて異議なく承認されました。

議案第1号 2024年度事業報告

質疑等なく承認された。

議案第2号 2024年度決算報告及び会計監査報告

広報紙の体裁・配布先等について質問があり、A4サイズ8ページのフルカラー印刷で500部を印刷、隔月刊で年間6回発行していること、また、会員への郵送配布のほか、各公民館や学校、イベント等で配布していると回答した。

議案第3号 会則の改正

次年度から口数を1口2,000円とし

て個人会員の会費を1,000円から2,000円に値上げするもの(団体会員は2,000円で据え置きとなる)。

会費未納者の退会については現在規定がないが、適正な支払を求めつつ、今後規定の制定を検討する。

議案第4号 2025年度事業計画

「広報川越」の本会行事の不掲載は、川越市広報室による民間団体主催のイベントを掲載しない判断のため。

「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を視野に入れた長期的な視点をふまえた活動については、各事業において頭頭に置いて活動している。

市民に広く実践を呼びかける方法については、会員とともに今後議論したい。

「コエドカラー」への行事掲載については、すでに実施しているが効果が不明なので検証が必要である。

その他、生ごみ処理の工夫、カメムシ対策のためのドローンによる農薬散布が行われること、「コエドカラー」の効果など意見・情報提供があった。

議案第5号 2025年度予算

質疑等なく承認された。

懇親会

コロナ禍を除いて、総会後の懇親会は恒例行事となっています。

今回もお弁当を注文して初雁公園の休憩所において12名により懇親会を行いました。昼食後に自己紹介を行いました。みなさんいろいろな活動や知見を持っていて、お互いの人となりを知ることができました。(小瀬博之)



総会の様子



懇親会の様子

【報告】川越市内の川の一斉水質調査 (6月8日)

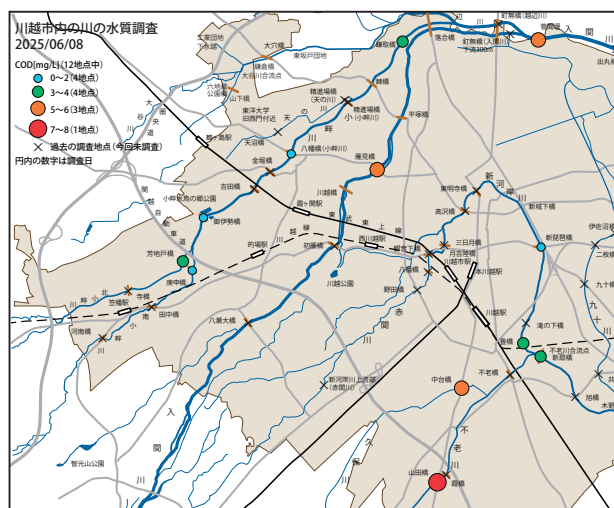
実施概要

全国で実施される「身近な水環境の一斉調査」に参加し、実施日に合わせて川越市内の川の水質調査を2005年以来継続的に実施しています。

今年は6月8日(日)に4名が分担して12地点の調査を実施しました。昨年と異なる地点は、九十川二枚橋から小畔川鎌取橋への1地点のみです。

調査結果

結果は調査日前の雨などの影響を受けるので毎年変動がありますが、全体的には前年よりよい傾向があり、COD(化学的酸素要求量)は、0~2mg/Lが4地点(2024年は0地点)、3~4mg/Lが4地点(同3地点)、5~6mg/Lが3地点(同3地点)、7~8mg/Lが1地点(同6地点)でした。



調査地点とCODの水質調査結果



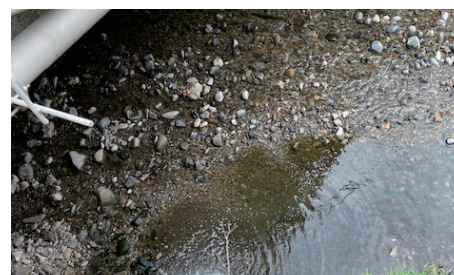
南小畔川庚申橋での採水の様子



入間川雁見橋の採水の様子



新河岸川畳橋の採水地点の様子



不老川山田橋の採水地点の様子

【社会環境部会コラム】社会と環境について思うこと (34) お米づくりは風景をつくること

「お米づくりは風景をつくること」というコンセプトで川越の西部、笠幡地域において、農薬・化学肥料を使わない稲作を始めて5年が経ちました。このコラムの原稿を書いているのは6月上旬、田植えの直後です。小畔川の豊かな水をたくわえた田んぼには、たくさんのオタマジャクシやホウネンエビ、ヤゴや小さなゲンゴロウなどの姿を見ることができ

ます。始めたばかりのころは、約1,500m²の田んぼで家族と身近な友人たち分のお米の収穫量でしたが、人にも生きものにもやさしいお米づくりを広めていきたい、川越の地で自分自身の手で少しでもよい環境をつくっていききたいという想いから、毎年作付面積が増えていき、今では約15,000m²と5年前の10倍の面積でお米を育てています。私たち人間が生きていく上で最も大切な「食」、この食が育まれていく過程でいかに環境に配慮していくことができるか、自分にとって大きなチャレンジです。

世の中では「令和の米騒動」と呼ば

れ、お米が広く注目を集めていますが、自分自身でお米を育てて感じるのは、生産者である農家の苦勞が適切に評価されず、適正な価格で農産物を流通するしくみがまだまだ日本では確立されていないなということです。弥生の時代から連綿と続く農の営みは、本当に価値のあるものです。一方で、分業が進んだ現代社会では、生産現場である農地の様子がなかなかイメージできない人も多くなっている気がします。農業をはじめ前の僕自身もそうでした。実際に自分自身で農の経験を積んでいくことで、農にまつわる解像度が高まっていきます。自然の循環に寄り添った農業には不確定な要素が多くあり、そういった状況の中で、農産物を育てている農家を支えていくためのしくみが充実していけばいいなと期待しています。

そういったしくみづくりをしていく第一歩として、僕は「風景」というキーワードを通じて、つくる人と食べる人をつなげていきたいと考えています。私たちがこれからの世代に伝えていきたい

風景、残していきたい風景には、人の営みと豊かな自然が調和したものが多くあるでしょう。僕らが日々食べている食事は、どんな風景のなかで育ってきたのだろうか、そんなことを考えると、農とのつながりが深まっていくのかと思います。(増田知久)



田植えの様子

【自然環境部会コラム】自然を訪ねて (22)「キノコが見当たらない」に想う

「いつも見ているキノコが見当たらない」と3年ぐらい前から感じています。(仮称)川越市森林公園計画地(以下川森と呼ぶ)は350年も続く人が育てた雑木林で、川越市内では最大の40haの面積を有します。かわごえ環境ネットは20余年前から、保全活動や種々の観察会を続けています。ところで最近、この森に小さな異変がいくつか重なって生じています。川森はそれ以前は野鳥の宝庫であり夏鳥、冬鳥の飛来地として、また年間を通して留鳥の多い林でした。

この森の40年間の変化を思い出すまま並べると次のようになります。

①林内薄暗く、歩く人はいなかった(1982年)→②マツクイムシで赤松の大半が被害、伐採され林内が明るくなった→③バードウォッチングの適所として種々の観察会が続く→④オオタカ営巣の赤松大木がなくなり、杉や檜に移るが毎年営巣(今は営巣ゼロに近い)→⑤「森のさんぽ道」設置で散歩者が増える→⑥留鳥、夏鳥、冬鳥とも野鳥激減で野鳥観察会はできなくなる→⑦コ

ロナ発生(2020年)、森のさんぽ道にマスクの人が増える→⑧キノコが見当たらないことに気付く(2023年)→⑨ナラ枯れ発生(2020年8月)→⑩ナラ枯れ木、伐採撤去始まる→⑪林内風景が変わって見える(2025年現在)。ここで、⑧のキノコが見当たらないということを考えてみます。林内をブラ歩きする時に普通に見かけたはずのキノコに出会えないという意味で「様子が変わり」と感じたことです。

キノコとは菌類の「花」に当たりますが見当たらないキノコの名前を列挙してみます。菌根菌ではカワリハツ、ツチカブリ、ヤマドリタケモドキ、シロオニタケ、ツルタケ、ドクベニタケ、クロハツ、オキナクサハツ。腐生菌ではイタチタケ、ヒメカバイロタケ、ザラエノハラタケ、ウスキモリノカサなどです。

その理由をはっきりはわかりませんが、特に菌根菌について考えてみます。思いつくことは、戦後80年、一度も萌芽更新を行っていない事実です。15年~20年ごとに繰り返された森の若返り

作業が途絶えてしまったこととなります。

森は樹木の高齢化により、地上部分の衰えはもとより、地下土壌の微生物のネットワークにある種の異変または限界が生じ始めてしているのではないかと心配されます。菌根菌のはたらきが森林動態とどのように関連しているのかはわかりませんが、コナラ二次林が将来的にも多面的機能を発揮して地域における生物多様性保全に役立つよう願わざるを得ません。このキノコの小さな異変はそれら保全の危険信号とも言えるのかも知れません。近々、予定されているキノコ観察会が参加した子どもたちを喜ばせてくれるよう、さまざまなキノコの姿を期待したいと願っています。

(稗島英憲)



ムラサキヤマドリタケ センボンイチメガサ

【参加者募集・期間近】キノコの観察会（7月5日）

きのこの観察会

自然のキノコは山に行かないと見られないと思っておられる方は多いのではないのでしょうか。ところが、その気になればキノコは様々な場所で見つけることができます。川越の雑木林では結構いろいろなキノコに出会えます。中でも「(仮称)川越市森林公園」計画地はこれまで100種以上のキノコが確認されています。梅雨のジメジメした時期にニョキニョキと出てきます。最近ではナラ枯れで少なくなりましたが、みなさまの多くの目でキノコを見つけましょう。

日時：2025年7月5日(土)9:30~12:00
 場所：集合 南文化会館(ジョイフル)第4会議室9:15
 採集「(仮称)川越市森林公園」計画地
 講師：福島隆一氏(埼玉きのこ研究会)
 稗島英憲氏(かわごえ環境ネット)
 参加費：200円 募集：先着30名
 申し込み：川越市環境政策課 049-224-5866
 持ち物：飲み物、虫よけ、メモ帳、ルーペなど

自然のキノコは山に行かないと見られないと思っておられる方は多いのではないのでしょうか。ところが、その気になればキノコは様々な場所で見つけることができます。川越の雑木林ではけっこういろいろなキノコに出会えます。中でも「(仮称)川越市森林公園」計画地はこれまで100種以上のキノコが確認されています。梅雨のジメジメした時期にニョキニョキと出てきます。最近ではナラ枯れで少なくなりましたが、みなさまの多くの目でキノコを見つけましょう。

日時：7月5日(土)9:30-12:00
 集合：9:15 川越南文化会館(ジョイフル)第4会議室
 採集場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地
 講師：福島隆一氏(埼玉きのこ研究会)
 稗島英憲氏(かわごえ環境ネット)

参加費：200円
 募集：先着30名
 申込：電話で川越市環境政策課(Tel.049-224-5866)
 (当日直接参加も可能です)
 持ち物：飲み物、虫よけ、メモ帳、ルーペなど



2024年のキノコの観察会の様子

★その他、会員及び一般参加者を募集する行事または活動

虫の観察会

日時：8月2日(土)9:30-12:00 集合：川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2) 観察場所：(仮称)川越市森林公園計画地 申込：7月1日(火)11:00から電話で川越市環境政策課(Tel.049-224-5866) 環境政策課、かわごえ環境ネット共催

「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動

(毎月第2・第4月曜日) 日時：7月14・28日9:30-12:30(8月は休止) 集合：川越南文化会館(ジョイフル) 問い合わせ先：賀登(Tel.049-234-9366)

池辺公園定例活動

(隔月第2火曜日、今年度より毎月から隔月になりました) 日時：8月5日(火)9:30-12:00 場所：池辺公園(川越市池辺1302) 問い合わせ先：賀登(Tel.049-234-9366)

川越市環境計画見直し意見交換会

日時：8月20日(木)9:00-11:00 場所：川越市役所地階修養室(川越市元町1-3-1) 内容：「第五次川越市総合計画」「第四次川越市環境基本計画」の審議経過の確認、「川越市環境行動計画」改定に向けての検討、フリーディスカッション 申込：不要(直接会場)



(2024年の虫の観察会)ここに虫がいる！



(2024年の虫の観察会)森の中は気持ちいいね



(2024年の虫の観察会)高い樹の上に網を延ばす

理事会・事業運営委員会

4月16日(水)

1 2024年度会計監査報告並びに2025年度予算案確認：予算執行額が例年より少なく、川越市補助金36万円のうち53,359円を返還。監事から印刷の見直しについて意見があり、今後方策を検討。かわごえ環境フォーラムの協賛金に代えて賛助会員として年会費として徴収することなど今後検討。2 年会費を1口2,000円とする会則の改正案を承認(個人会員は1,000円から2,000円に値上げ、適用は2026年度から)。2年以上会費未納の会員について自動的に退会させる案について今後検討。3 川の一斉水質調査を6月8日(日)午前に実施。4 特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉の賛助会員を継続。5 第26回アースデイ川越 in 昭和の街2025の実施報告。6 11月29日に開催予定の「親子で来てね!森のおさんぽ会」の費用、対象、人数、開催時間について検討。

5月21日(水)

1 総会の役割分担、返信状況の確認。2 川の一斉水質調査の調査地点と分担の確認。3 埼玉県環境部みどり自然課からの情報提供内容を確認。4 3月から個人2、民間団体2、事業者1の退会があり、会員は個人139、民間団体20、事業者25、行政1の184会員。5 『川越版レッドデータブック&生き物ウォッチング』の発行にあたってみぬまサウルス企画事務所から助成金の振込を受けたことを報告。(理事長 小瀬博之)

会合

◆事業運営委員会 7月30日(水) 9:00-10:00 (8月は休会)

◆理事会 7月30日(水) 10:00-11:30 (8月は休会)

会場：いずれも川越市役所地階修養室

社会環境部会

2025年度の社会環境部会の活動は、

「環境対話カフェ」をメインにしていきます。環境に関する疑問や思いは個人では抱えているけれど、なかなか日常生活の中で他者と意見を交わし合うという場がないという声をよく聞きます。そこで、社会環境部会では、川越のまちでこれまで環境活動をしてきた人や市民団体、自治会などがより多くの人に出会い、語り合う場をコーディネートしていきます。

今後のスケジュール

①「雨と緑を楽しむグリーンインフラパート2」11月22日(土) 14:00-16:00 予定。②「まちづくりと環境活動」12月予定(社会環境部会代表 増田知久)

自然環境部会

5月例会は9日(金)に7名参加で川越市役所7E会議室、6月例会は13日(金)に9名参加で同7D会議室にて開催された。

活動報告

1 「(仮称)川越市森林公園」(川森)計画地定例活動 4月14日(月) 17名参加：林内一周チェック、希少種の生育を確認。4月28日(月) 17名参加：キンランなどの株数調査、新たに見つかったクゲヌマランの確認。5月12日(月) 21名参加：ギンラン、イチヤクソウなどの株数調査。5月26日(月) 12名参加：ノヤマトンボ、ヤマユリなどの調査。6月9日(月) 17名参加：第2 武蔵野ふれあいの森の草刈り(写真1)。2 池辺公園定例活動 6月10日(火)：雨中止。3 川越女子高等学校生物部の生徒さん13名「(仮称)川越市森林公園」計画地ガイド 4月27日(日) 午前中：スタッフ2名が希少種を中心に案内(写真2・3)。4 クモの観察会 6月6日(金) 9:30-12:00「(仮称)川越市森林公園」計画地、講師 平松毅久氏、自然環境部会メンバー10名参加：17種を確認

協議事項

ドローンによる農薬空中散布の生物多

様性への影響や対策について話し合った。(自然環境部会代表 賀登環)

●自然環境部会(第2金曜日)

*会員であれば自由に参加できます

日時：7月11日(金) 13:30-15:00 (8月は休会) 会場：川越市役所地階修養室

広報委員会

2025年9・10月号(No.205, 9月1日発行) 投稿募集(会員対象)

投稿期限：8月8日(金)

投稿方法：原稿・図表・写真(解像度の高い元データ)を電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付ください。メーリングリスト未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出してください。

◆本会「ホームページ」「note」への投稿
会員であれば随時対応します。koho@kawagoekankyo.netへご連絡ください。

◆広報委員会

立案・依頼 7月9日(水) 9:00-9:30、
入稿確認 8月6日(水) 9:00-9:30 会場：オンライン(URLは委員に案内)
発送 8月27日(水) 11:00-12:00 会場：川越市役所5階フリースペース

入会のご案内

本会では約180の団体・個人が参加し、かわごえの環境の環(わ)を「太く」「大きく」「さらにつなげる」さまざまな活動を行っています。本会に入会すると本紙を郵送またはメールサービスでお届けします。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です。詳細はかわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課)に問い合わせるかWebサイトをご覧ください(右のQRコードからアクセス)。



入会案内



写真1 6/9 川森 旺盛に伸びた草を刈る



写真2 4/27 川森 咲き誇るキンラン



写真3 4/27 川越女子高校の生徒さん

NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (hatsukarinosato@
googlegroups.com, 070-5599-2623)

近況報告

5月24日(土) 田植えした1週間後に田んぼ一帯にカブトエビが出現しました。ホウネンエビやゲンゴロウなども数多く出現しています。環境に優しい田んぼのいのちの循環を感じます。田んぼのおコメを食糧問題だけと捉えてはいけません!



田植え後の田んぼ



体長4cmになる
カブトエビ



水中で泳ぎ回る
ホウネンエビ

予告

◎**田んぼがつなぐいのちの循環 ~食と健康・土壌菌・地球環境~**セミナー

7月12日(土) 13:30-16:30 場所:ウエスタ川越 (川越市新宿町1-17-17) 主催:日本薬科大学、小江戸南古谷農園との共同主催 **参加費:無料**

Facebook <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

Web <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

福原ファームクラブ

横山三枝子 (049-246-9319)

予告

◎**おいしく・楽しく農業体験 7月12日(土) 9:30-12:00** ころ トウモロコシ畑の片付け等(8月は休み) 場所:明見院(川越市今福677) 近く **会費:1,000円(年間)**

小畔川の自然を考える会

賀登環 (049-234-9366)

予告

◎**魚類調査 7月25日(金) 8:00-10:00**

◎**小畔川魚とり遊び 9月27日(土) 9:30-12:00**

どちらも、かほく運動公園(川越市霞ヶ関北6-28-2) 前親水ゾーンにて

川越フォレストクラブ

賀登環 (049-234-9366)

報告

「(仮称)川越市森林公園」計画地で、手入れがされていない公有地やそれにつながる民有地を、動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した生態系保全の手入れを行っています。埼玉森林サポータークラブの有志とかわごえ環境ネット会員で2020年に結成しました。今回のフィールドは20年以上放置されたヒノキの多いエリア。林床にはリンドウ、イチヤクソウなど希少種も多くあります。5月14日(水)は9名参加。チェーンソーで枯損木を3本伐倒し、次第に若返っています。



枯損木の伐採



元気なメンバー

予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地の**手入れ 9月10日(水) 9:00-12:00** (7月は休止、奇数月の第2水曜日が活動日)

こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (hkose@toyo.jp, 049-239-1532)

報告

1 5月10日(土) 18名での活動。かわごえ環境ネットの方々にも協力いただき、6月から始まる「こもれびの道」や新校舎の工事によって開発されるエリアの希少な植物などを、2015年に整備された「自然再生エリア」などに移植しました。2 6月7日(土)「つるがしま市民環境まつり2025」にワークショップ「森で採れた材料で工作」を出展しました。多数の来場客でにぎわいました。



5月10日の参加者



雨の中の移植作業



移植先での作業



つるがしま市民環境まつり

予告

◎**里山林保全活動 7月12日(土) 8:30-16:00** 作業内容:林床の下刈り、倒木の処理、希少植物の保護など(8月は休

み) **場所:**東洋大学川越キャンパス(川越市鯨井2100) **定員:**15名(原則高校生以上、事前予約必要)

報告・予告の詳細は下記特設サイトへ **特設サイト** <https://sites.google.com/toyo.jp/toyokomorebi>

公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野(049-222-1731, 当日090-7003-8617)

予告

◎**伊佐沼でバードウォッチング**(毎月第2日曜日) **集合:**10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、雨天中止 **持ち物:**筆記用具、図鑑、双眼鏡、飲み物 **参加費:**一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

1 **7月13日(日) 10:10-12:00** 夏鳥が揃って出迎えてくれます。オオヨシキリ、コアジサシ、ヨシゴイなど。カイツブリはかわいい子連れで泳いでいます。

2 **8月10日(日) 10:10-12:00** 夏休みです。お子さんと一緒にサギの仲間を探しましょう。

個人会員

松岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館(049-245-3581)

予告

◎**かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」** 会場:高階南公民館(川越市藤原町23-7) コミュニティスペース **参加費:**無料 **持ち物:**直近2~3か月の電気・ガス・水道使用量(料)のわかるもの。

参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話しています。個々の取組が減災・防災につながります。

1 **7月9日(水) 10:00-11:30** この先の冠水・内水氾濫対策:~「雨水を活用しないのはもったいない!!」中高でも行う理科の水の実験を体験してみよう~

2 **8月4日(月) 10:00-11:30** 生命力を高める生活"空気と水編":~「お日様の力でお茶や料理ができたらいいな」ソーラークッカー、ソーラーボトルを使ってお湯を沸かしてみよう~(夏休み「子どもの自由研究」にもおすすめです♪)

5-8ページの記号凡例 ★:本会主催・後援等一般公開行事 ●:本会会員対象行事 ◆:本会理事・委員対象会合 ◎:本会会員等主催のイベント等 ○:その他(個別記事参照)

2025年7月

1	火	○	11:00 「虫の観察会」 申込開始
2	水		
3	木		
4	金		
5	土	★	9:30 キノコの観察会
6	日		
7	月		
8	火		
9	水	◆	9:00 広報委員会 (立案・依頼) ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
10	木		
11	金	●	13:30 自然環境部会
12	土	◎	8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 ◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験 ◎ 13:30 田んぼがつなぐいのちの循環 ～食と健康・土壌菌・地球環境～セミナー
13	日	◎	10:10 伊佐沼でバードウォッチング
14	月	★	9:30 「(仮称) 川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
15	火		
16	水		
17	木		
18	金		
19	土		
20	日		
21	月		海の日
22	火		
23	水		
24	木		
25	金	◎	8:00 魚類調査
26	土		
27	日		
28	月	★	9:30 「(仮称) 川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動
29	火		
30	水	◆	9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
31	木		

インターネットアクセス (QR コード)



ホームページ



X (Twitter)



Facebook



note



かわごえ里山



こもれび隊

おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

2025年8月

1	金		
2	土	★	9:30 虫の観察会
3	日		
4	月	◎	10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
5	火	★	9:30 池辺公園定例活動
6	水	◆	9:00 広報委員会 (入稿確認)
7	木		
8	金	○	本紙 2025年9・10月号 (No.205) 原稿投稿期限
9	土		
10	日	◎	10:10 伊佐沼でバードウォッチング
11	月		山の日
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水	★	9:00 川越市環境計画見直し意見交換会
21	木		
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水	◆	11:00 広報委員会 (発送)
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

ボタニカルアート (14) ハス (花期 6-7月)

花の容姿、葉の立ち姿、これほど清々しく高貴な植物は他に見当たりません。その昔人々の祈りと命に寄り添って、遠く天竺からはるばる我が国までやって来たのでしょうか。蓮根はもちろん、若い種も美味、蓮茶の香りもよいです。花が開くときに音がするといううわさを信じて、伊佐沼に何度も通いましたが、残念ですが聴くことはありませんでした。(岡 治)



広報 かわごえ環境ネット
2025年7・8月号
No.204

発行日：2025年7月1日 編集・発行：かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局：川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1
Tel.049-224-5866 (直通), Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.lg.jp
かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net>